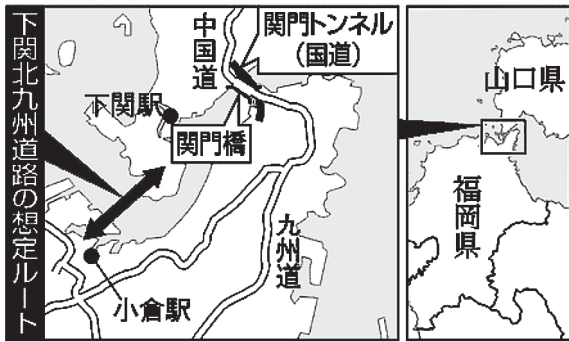


辞めるべきは

首相自身

ウソと忖度の安倍政治



安倍・麻生道路

下関－北九州

安倍首相や麻生副総理の意向を「忖度した」と発言した塚田一郎国交副大臣が辞任に追い込まれた下関北九州道路計画。同計画は安倍首相の地元、下関市と麻生副総理の地盤、北九州市を結ぶため、「安倍・麻生道路」と呼ばれています。

凍結されていた計画に、なぜ今年度4千万円もの調査費がついたのか。安倍首相は、昨年10月に麻生氏側近の自民党参院議員らと官邸で会談し、「早期実現に向けた活動をしっかり取り組むように」と指示をしたといわれています。

問われているのは首相の関与。真相の徹底解明と、選挙での審判が必要です。

森友

国有地を不当に格安で学校法人へ払い下げた森友疑惑。名誉校長になった首相の妻・昭恵氏の存在が背景に。財務省は公文書を廃棄・改ざんし、記録はないなど虚偽答弁を続けました。それも「私や妻が関係していれば、首相も国会議員も辞める」といった首相を守るためでした。

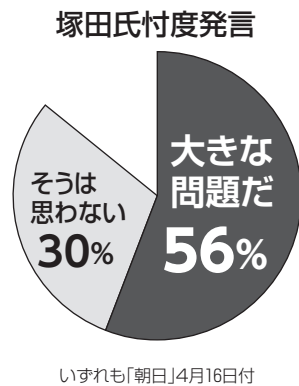
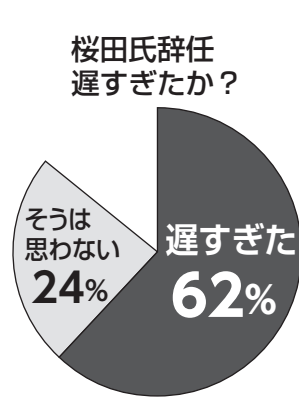
加計

首相の「腹心の友」が理事長を務める学校法人が、首相肝いりの国家戦略特区に獣医学部を開設した加計疑惑。文部科学省が「総理のご意向」などと推進。首相は関与を否定しますが、愛媛県の文書では首相の発言で計画がすすんだ経過が明るみに。

首相のウソにあわせて周りがウソ



「しんぶん赤旗」日曜版4月21日付9ページ



いずれも「朝日」4月16日付

閣僚らの暴言、失言が相次いでいます。4月5日、塚田一郎国土交通副大臣が下関北九州道路の建設で安倍晋三首相らの意向を「忖度した」と発言して辞任。その5日後には桜田義孝五輪担当相が復讐以上に大事なのは自民党議員だ」と暴言、即日辞任しました。

安倍首相は「任命責任は私にある」といいますが、自らは責任をとりません。しかし暴言、失言が相次ぐ根源は安倍首相。辞めるべきは首相自身です。「森友・加計疑惑」で首相がウソを言い、そのウソにあわせて周りがウソをつく。こんな「ウソと忖度の政治」は終わりにしましょう。

日本共産党

首相の指示で国事業に？